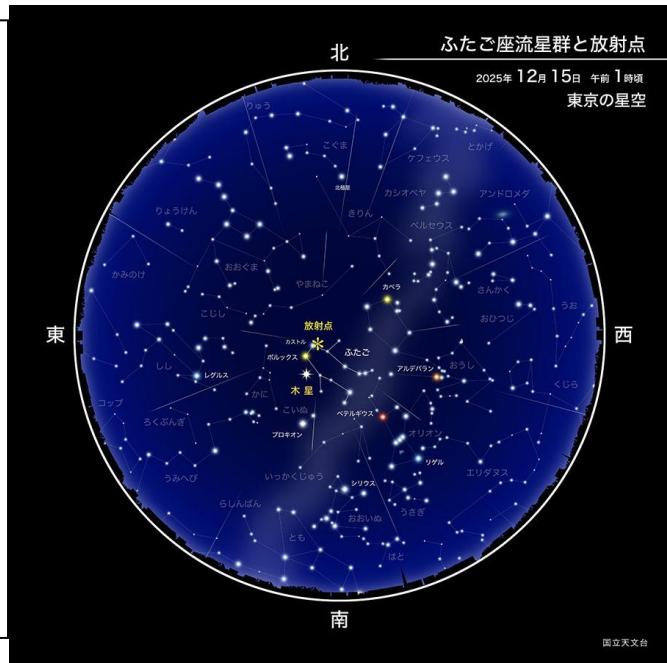


●有田川町天文ニュース (12・1月号)

有田川町天文クラブ・有田川町教育委員会

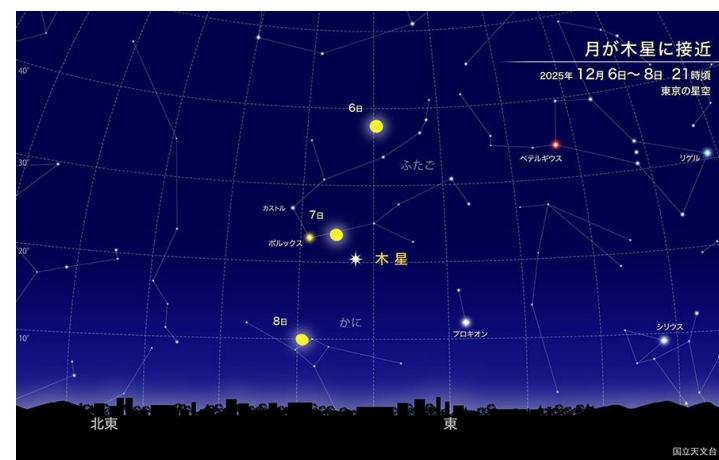
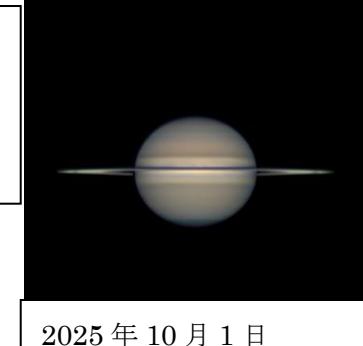
ふたご座流星群が極大
ふたご座流星群が12月14日午後5時頃に極大を迎えます。15日午前2時頃に月齢24.5の細い月が昇ってきますが月明りの影響が少なく、観測は好条件でできるでしょう。
しぶんぎ座流星群が1月4日午前6時頃極大を迎えます。3日19時03分に満月となった月があり観測の条件は良くありません。
8月のペルセウス座流星群、12月のふたご座流星群、1月のしぶんぎ座流星群をあわせて三大流星群と呼びます。



ふたご座にある木星は、とても明るく輝いており「夜半の明星」と呼ばれています。1月10日は「衝」を迎え、観望好期となり、表面の縞模様が観測しやすくなります。
衝：惑星が太陽と正反対の位置にある状態



夕方、南から西の空に見えています。
11月24日頃、土星の環がごく細くなり見えなくなりました。1月になっても、環の傾きが1度くらいしかなく、細く見えます。



12月7日、午後8時頃、東の空に明るい月と、マイナス2.6等の木星が昇ってきます。月と木星が一番接近するのは、8日の午前3時26分頃（東京の場合）です。この夜は空が明るくなるまで月と木星が接近しようすみます。